

教育課程の編成

重点事項

- | | |
|---|--|
| <p>1 豊かな心を育てる教育課程の充実</p> <p>(1) 望ましい人間関係を育てる教育計画 尊厳と信頼で結ばれた集団の育成を通して社会性を育み、思いやりの心を育てる教育計画を作成する。</p> <p>(2) 感性を育む教育活動 ふるさと教育の推進により、真・善・美に対する感性を培うとともに、多様な人々と積極的に交流しながら共生できる開かれた心を養う教育活動を展開する。</p> <p>2 基礎学力の向上を図る教育課程の充実</p> <p>(1) 育てたい力を明確にした教育計画 発達の段階や特性等に応じ、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得や、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を目指す教育計画を作成する。</p> <p>(2) 生きがいや創造性を育む教育活動 自己の生き方を考え、生涯を通じて学び続ける意欲と態度を育む。また、創造力の育成に向け、一人一人のよさや可能性を伸ばす特色ある教育活動を展開する。</p> | <p>3 変化に対応する力を育む教育課程の充実</p> <p>(1) 主体的に学ぶ力を育てる教育計画 多様な他者と協働して問題を解決していく学習を充実させるなど、主体的な学習の仕方が身に付く教育計画を作成する。</p> <p>(2) 問題発見・解決能力等を育む教育活動 各教科等の特質に応じ、地域の人材や素材、学校図書館、ICT等を効果的に活用するなどして、問題発見・解決能力等の育成を図る。</p> <p>4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実</p> <p>(1) 家庭や地域社会との連携 「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、家庭や地域社会と学校教育目標を共有するとともに、連携を図りながら、学校等の実態に応じた適切な教育課程の編成、実施に努める。</p> <p>(2) 学校評価等を生かした教育課程の改善 学校評価等を生かして教育課程の工夫改善に努めるなど、組織的かつ計画的に学校等の教育活動の質の向上を図る。</p> |
|---|--|

幼稚園・保育所・認定こども園

- 1 豊かな心を育む教育課程や全体的な計画の充実**
- (1) 人と関わる力を養う教育・保育の計画
 信頼関係を基に、自分の力で行う充実感や身近な人と一緒に活動する楽しさを味わうことを通して、人と関わる力を育む教育・保育の計画を作成する。
- (2) 感性を育む教育・保育
 身近な環境と十分に関わる直接的・具体的な体験の充実を図り、豊かな心情や感性を育む教育・保育を展開する。
- 2 一人一人の育ちを支える教育課程や全体的な計画の充実**
- (1) 乳幼児期における発達の特性を踏まえた教育・保育の計画
 乳幼児期の発達の特性を踏まえるとともに、入園から修了までの発達の見通しをもった教育・保育の計画を作成する。
- (2) 乳幼児理解に基づいた教育・保育
 一人一人のよさや可能性を把握するなど乳幼児理解を深め、発達に必要な経験が得られる教育・保育を展開する。
- 3 小学校以降の生活や学習の基礎を培う教育課程や全体的な計画の推進**
- 乳幼児が環境に主体的に関わり、環境との関わり方や意味に気付き、これらを取り込もうとして、試行錯誤したり、考えたりしようとする乳幼児期ならではの学びを一体的に育むことを目指す教育・保育の計画を作成し、展開する。
- 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程や全体的な計画の充実**
- (1) 家庭や地域社会との連携
 職員間の共通理解の下、園目標を共有するなどして家庭や地域と連携及び協働を図り、園の実態に応じて創意工夫した特色ある教育課程や全体的な計画を作成し、実施する。
- (2) 学校（園）評価等を生かした教育課程の改善
 学校（園）評価等を生かし、教育課程や全体的な計画の工夫改善に努めるなど、組織的かつ計画的に教育・保育の質的向上を図る。

小 学 校

1 豊かな心を育てる教育課程の充実

(1) 心の通う人間関係を育てる教育計画

基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、信頼と思いやりを基盤とする人間関係を育む教育計画を作成する。

(2) 感性を育む教育活動

地域の自然体験やボランティア活動等の社会体験、表現・鑑賞活動の充実を図るとともに、感動する心、他を尊重する心などを育む教育活動を展開する。

2 基礎学力の向上を図る教育課程の充実

(1) 育てたい力を育む教育計画

幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を受け継ぎ、義務教育としての基礎的な資質・能力の育成を目指した教育計画を作成し、教科等横断的な視点をもって指導の充実を図る。

(2) 主体性や創造性を育む教育活動

夢や希望をもち、よりよい生活や社会をつくろうとする態度を育てる。また、自己を肯定的に受け止め、主体的、創造的に生きる力を育む活動を重視する。

3 変化に対応する力を育む教育課程の充実

(1) 主体的に学ぶ力を育てる教育計画

児童が生活体験や興味・関心を基に自ら課題を見付け、方法を選択したり他者と協働したりしながら解決に取り組む自主的、自発的な学習を適切に位置付ける。

(2) 問題発見・解決能力等を育む教育活動

言語活動や実践的・体験的活動、問題解決的な学習等の充実を図る。その際、教材・指導形態・授業時数の運用や学習環境の整備など、児童や学校の実態を踏まえた工夫に努める。

4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

(1) 家庭や地域社会との連携及び協働

児童の状況等について情報発信し理解や協力を得たり、家庭や地域の人々の意見を把握し教育活動に生かしたりする。

(2) 学校評価等を生かした教育課程の改善

重点目標の達成状況等について評価し、児童がよりよい学校生活を送ることができるよう取組の改善を図る。

中 学 校

1 豊かな心を育てる教育課程の充実

(1) 共感的な人間関係を育てる教育計画

互いの立場や考えを尊重し、学び合い、高め合い、磨き合いながら、共感的な人間関係を深める教育計画を作成する。

(2) 感性を育む教育活動

地域の特性を生かした体験活動や、表現・鑑賞活動の充実を図るとともに、豊かな感性を育む教育活動を展開する。

2 基礎学力の向上を図る教育課程の充実

(1) 育てたい力を育む教育計画

小学校教育を受け継ぎ、必要な資質・能力の育成を目指した教育計画を作成するとともに、各教科等の特質や関連を踏まえた効果的な学習となるよう教科等横断的な視点をもって指導の充実を図る。

(2) 主体性や創造性を育む教育活動

将来の生き方を考え、進路を主体的に選択し、自己実現を図ろうとする態度を育てる。また、個々のよさを伸ばし、社会の中で主体的、創造的に生きる力を育む活動を重視する。

3 変化に対応する力を育む教育課程の充実

(1) 主体的に学ぶ力を育てる教育計画

生徒が生活体験や興味・関心を基に自ら課題を見付け、方法を選択したり他者と協働したりしながら解決に取り組む自主的、自発的な学習を適切に位置付ける。

(2) 問題発見・解決能力等を育む教育活動

言語活動や実践的・体験的活動、問題解決的な学習等の充実を図る。その際、教材・指導形態・授業時数の運用や学習環境の整備など、生徒や学校の実態を踏まえた工夫に努める。

4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

(1) 家庭や地域社会との連携及び協働

生徒の状況等について情報発信し理解や協力を得たり、家庭や地域の人々の意見を把握し教育活動に生かしたりする。

(2) 学校評価等を生かした教育課程の改善

重点目標の達成状況等について評価し、生徒がよりよい学校生活を送ることができるよう取組の改善を図る。

高等学校（全日制）

- 1 学校の特色や創意工夫を生かした教育課程の編成
 - (1) 特色ある教育課程の編成

学校や地域の実態、学科の特色等を考慮し、学校の特色を生かした魅力ある教育課程を編成する。
 - (2) 社会の変化に対応した教育活動

科学技術の進展やグローバル化、少子高齢化等の社会の変化に対応できる資質・能力を育成する教育活動を展開する。
- 2 確かな学力の育成を図る教育課程の充実
 - (1) 学習の基盤となる資質・能力を育む指導計画の作成

基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得できるようにするとともに、生徒がそれらを活用し、課題を自ら発見・解決する活動を適切に位置付けた指導計画を作成する。
 - (2) 多様な能力・適性を伸ばす教育活動

生徒の興味・関心や進路希望などに応じて、幅広い科目選択ができる教育課程の編成に努め、それぞれの生徒がもつ能力を伸ばす教育活動を展開する。
- 3 主体的に学ぶ力を育てる教育課程の推進
 - (1) 学ぶ意欲を高める指導計画の作成

教科等横断的な学習を推進し、主体的に学ぶ意欲を高めるとともに、思考力、判断力、表現力等を養うための指導計画を作成する。
 - (2) 自己実現を図る教育活動

一人一人の進路意識を高め、主体的に自己実現を図る資質・能力を育成するための教育活動を展開する。
- 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実
 - (1) 適切な教育課程の実施

社会や世界の状況を視野に入れながら、学校教育目標の実現に向けて必要な教育活動を教育課程において明確化する。
 - (2) 家庭や地域社会との連携の充実

教育課程の実施に必要な地域社会の人的・物的資源を活用し、学校教育目標を家庭や地域社会と共有しながら教育活動の質的向上を図る。

高等学校（定時制・通信制）

- 1 特色ある定時制・通信制教育の推進
 - (1) 特色ある教育課程の編成

生徒の主体性を引き出す多様な教科・科目を設定し、一人一人を生かす特色ある教育課程を編成する。
 - (2) 教育内容の改善と充実

生徒の適性や進路希望等に対応できる教育内容を取り入れるとともに、学習機会の確保及び生涯学習の観点から、学校外における学修等への取組を推進する。
 - (3) 通信制の課程における指導計画の作成

添削指導及び面接指導において、学習効果が上がり、生徒との触れ合いが保たれるよう配慮した指導計画を作成する。
- 2 単位制、多部制による課程の充実

生徒の多様な実態を踏まえ、弾力的な教育課程の編成を行い、積極的に高等学校教育を受ける機会を提供する。
- 3 学習意欲を高める指導方法の工夫

ガイダンスの機能を充実させ、生徒の自己実現を支援するとともに、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得を図るための指導方法の工夫改善に努める。

定時制の課程においては、多様な学習機会を確保するとともに、個に応じた指導の工夫を図る。通信制の課程においては、生徒の学習意欲を喚起するためのICTの活用や、スクーリング等の指導方法の工夫を図る。
- 4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

「社会に開かれた教育課程」の理念に基づき、定時制の課程及び通信制の課程における目指すべき教育の在り方を家庭や地域社会と共有し、連携及び協働の下に教育活動の充実を図る。

義務教育学校、小中一貫型小・中学校

1 特色ある教育課程の編成

各校においては、異なる学年のつながりを重視するとともに、小・中学校の円滑な接続を目指し、学校教育目標を小・中学校の全ての教職員が共有した上で、9年間を見通した計画的かつ継続的な教育課程を編成している。本県では、市町村教育委員会が主体となり、各地域の特色を生かした小中一貫教育の多様な取組が展開されている。

2 小中一貫教育の充実

各校においては、9年間の教育課程を系統的に捉え、地域や学校の特色を生かした取組を推進している。小・中学校の教員が協働して行う指導方法の工夫改善や相互乗り入れ指導、小学校高学年における教科担任制の導入、小・中学校合同行事の実施を通じた児童生徒の交流等により、児童生徒の発達の段階に応じた質の高い教育活動が展開されている。

中高一貫教育校

1 特色ある教育課程の編成

本県では、入学者選抜を課すことなく中学校と高等学校を接続し、6年間の教育課程を計画的かつ継続的に編成する県立の中高一貫教育校を県内三地区に設置し、選択教科や指導内容の移行等の特例を生かした特色ある教育活動を展開している。

2 中高一貫教育の充実

各校においては、中高の学びを一体的に捉えた計画的かつ継続的な教育活動の展開や、特色ある教科・科目の開設等により、一人一人の個性や創造性の伸長が図られている。

また、系統的な教育活動における様々な課題やキャリア教育の充実に向けた指導の在り方等についての検証を行い、中高一貫教育の特性を十分に生かした、特色ある学校づくりを推進している。

特別支援学校

1 豊かな心と健康で安全な生活を送る力を育む教育課程の充実

他者への信頼と共感的な人間関係を基盤とし、思いやりの心を育む教育計画を作成し、学級経営の充実を図る。

また、望ましい生活習慣の形成を図るとともに、安全に留意し、運動を通じて体力を養うなど、健やかに生活する力を育む。

2 一人一人のよさや可能性を伸ばす教育課程の充実

(1) 個々の幼児児童生徒に応じた教育計画
個別の教育支援計画を活用し、家庭や関係機関との連携による一貫した支援や合理的配慮の提供を行う。また、的確な実態把握を基に個別の指導計画を作成・活用し、自立活動の指導の充実を図る。

(2) 育てたい力を明確にした教育活動

生活に生きる基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得や、課題解決に必要な思考力、判断力、表現力等を育む。さらに、ICT等を活用した学習活動の充実により、学習の基盤となる言語能力や情報活用能力等の育成を図る。

3 自立と社会参加を目指す教育課程の充実

(1) 一貫性のある教育計画

キャリア教育の視点を踏まえ、系統性のある指導内容・指導方法及び指導体制を工夫改善して教育計画を作成する。

(2) 地域や関係機関等と連携した教育活動

地域の資源を活用した教育活動を計画的に実施し、地域との関わりを通して、社会的・職業的自立に必要な力を育む。

4 カリキュラム・マネジメントの推進による教育課程の充実

(1) 学校、地域の実態を踏まえた教育課程の編成

幼児児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握し、学校教育目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立て、特色ある教育課程を編成する。

(2) 学校評価等を生かした教育課程の改善

学校評価等を生かして教育課程の工夫改善に努めるとともに、個別の指導計画の実施状況の評価・改善を教育課程の評価・改善につなげ、教育活動の質的向上を図る。

学 習 指 導

重 点 事 項

1 基礎学力の向上を図る学習指導の充実

(1) 自ら学び自ら考える力を育てる指導

自ら学び続ける力や思考力、判断力、表現力等の育成を目指し、児童生徒の疑問等を生かした主体的な学習活動、体験や感動を重視した指導を展開することで、探究的な学びの充実を図る。

(2) 受容と共感に支えられた魅力ある指導

教師と児童生徒、児童生徒同士の共感的で温かな人間関係を基盤とし、充実感・成就感を生み出す指導を展開する。

2 指導計画及び指導方法等の改善と充実

(1) 基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図る指導

指導のねらいを明確にし、体験的な理解や繰り返し学習を重視するとともに、各教科等の系統性を踏まえた指導を推進したり、知識及び技能の活用を図る学習活動を取り入れたりする。

(2) 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向けた指導

興味・関心に応じた学習課題や学習活動に取り組む機会を設けることで、自己調整しながら学習できるよう促すとともに、

一人一人のよさや可能性を生かし、異なる考え方を組み合わせるよりよい学びを生み出せるよう指導を工夫する。

(3) 各教科等の関連を図る指導計画の作成

各教科等及び学年間・校種間の指導内容の関連を図るとともに、本指針に示された視点を加えて指導計画を作成し、それに基づいた評価・改善等に努める。

(4) 全ての児童生徒に配慮した授業づくりの推進

全ての児童生徒に対し、主体的な学習を促すとともに、学習内容の理解を支える指導や支援の工夫に努める。

3 学習環境の整備と充実

(1) 言語環境の整備

児童生徒が、言語の役割や機能等について関心をもち、正しく美しい国語を用いるよう、教師自身が言語に対する意識を一層高めて指導に当たる。

(2) 豊かな学びにつながる学習環境の整備

家庭や地域、他校種等との連携を図ったり、学校図書館、ICT等を活用したりするなど、豊かな学びにつながる学習環境の整備と充実を努める。

学 習 評 価

1 学習指導の改善と充実に生かす評価

(1) 目標に準拠した評価の推進

目標に準拠した観点別学習状況の評価を基本とし、児童生徒が自分のよさや可能性に気づき、自らを伸ばしていくことができるよう、評価を適切に実施する。

(2) 指導と評価の一体化

指導のねらいに応じて、授業での児童生徒の学びの姿を想定した具体的な評価規準を設定するとともに、評価を行う場面や方法を工夫して学習の過程や成果を評価し、児童生徒の学習の改善と教師の指導の改善につなげる。

2 一人一人の児童生徒を伸ばす評価

(1) 自己評価、相互評価の活用

自己評価や相互評価を行う場面を設定することにより、児童生徒が自己の変容を客観的に自覚し、高い意欲をもって学

びに向かうことを促すとともに、評価能力を高めることができるよう配慮する。

(2) 個人内評価の活用

個人内評価の対象となるものを児童生徒に伝えるとき、感性や思いやりなど一人一人のよい点や可能性、進歩の状況等を積極的に評価し、児童生徒や保護者にその状況を適切に伝える。

3 妥当性と信頼性のある評価

(1) 評価の実施体制の整備

評価の実施体制を整備し、組織的かつ計画的に取り組むとともに、学校間の接続においても学習評価が適切に引き継がれるよう留意する。

(2) 評価の日常的な見直しと改善

学習評価の妥当性や信頼性を高めるために、評価方法等について日常的に改善を図るよう努める。

○参考資料

- ・【冊子】『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料』（令和2年3月 国立教育政策研究所）
- ・【冊子】『「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実」のためのサポートマガジン『みるみる』』（令和7年4月 文部科学省）

教科指導

国語 小学校

- 1 国語の学習が好きになり、日常生活における人との関わりの中で生きて働く言語能力を育成する指導
 - ・各学年での言語体験や既習事項を踏まえ、指導事項を基に単元の目標を具体化した指導計画の作成と改善
 - ・資質・能力の育成に向けた効果的な学習過程の構想及び実践と、単元の評価規準に照らした適切な評価の実施
 - ・言葉による見方・考え方を働かせる言語活動の充実と言語環境の整備
- 2 相手や目的、意図に応じて、適切な言葉で生き生きと伝え合う力を育成する指導
 - ・伝え合う目的や視点等を明確にして、児童が自ら学習の進め方を調整しながら、個々の考えの形成を目指す学習活動の工夫
 - ・伝え合っている状況を的確に見取り、指導のねらいの達成につなげる支援や学習形態等の工夫
- 3 読書活動の充実を図るとともに、必要な知識や情報を収集し、考えを広げることにつなげる指導
 - ・読書の意義や楽しさが実感できる図書館の利活用を含めた、日常生活における活発な読書活動の奨励
 - ・児童が目的に応じて学校図書館やICT等を活用し、多様な情報を得るなどして、考えを広げるための指導の工夫

国語 中学校

- 1 国語の学習に主体的に取り組み、社会生活における人との関わりの中で生きて働く言語能力を育成する指導
 - ・小学校及び各学年での言語体験や既習事項を踏まえ、指導事項を基に単元の目標を具体化した指導計画の作成と改善
 - ・資質・能力の育成に向けた効果的な学習過程の構想及び実践と、単元の評価規準に照らした適切な評価の実施
 - ・言葉による見方・考え方を働かせる言語活動の充実と言語環境の整備
- 2 互いの立場や考えを尊重し、豊かな言葉で生き生きと伝え合う力を育成する指導
 - ・伝え合う目的や視点等を明確にして、生徒が自ら学習の進め方を調整しながら、立場や考えの違いを認め、個々の考えを広げ深める学習活動の工夫
 - ・伝え合っている状況を的確に見取り、指導のねらいの達成につなげる支援や学習形態等の工夫
- 3 読書活動の充実を図るとともに、目的や意図に応じて的確に情報を読み取り、考えを広げたり深めたりすることにつなげる指導
 - ・図書館の利活用を図るとともに、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養い、読書の意義や効用の理解につなげるための指導の工夫
 - ・生徒が目的に応じて学校図書館やICT等を活用し、多様な情報と既習の知識や経験を結び付けるなどして、考えを広げたり深めたりするための指導の工夫

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・児童生徒が言葉の意味や働き、使い方等に注目して課題を見だし、学校図書館やICT等を目的に応じて主体的に活用しながら、粘り強く課題解決に取り組むことができる学習過程を構想する。
- ・児童生徒が考えを伝え合う中で、根拠にした叙述とその解釈を見直し、思いや考えを深められるような発問や働き掛けをする。
- ・児童生徒が、言葉について学んだことの意義や価値を実感し、身に付けた言語能力を自覚するとともに、自らの学習の進め方を調整できる自己評価や相互評価の場面を設定する。

国語 高等学校

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

1 国語の学習に主体的に取り組み、他者との関わりの中で社会人として必要とされる言語能力を育成する指導

- ・小学校、中学校の指導を踏まえ、各科目の目標及び指導事項を基に単元の目標と評価規準を明確にした指導計画の作成と改善
- ・資質・能力の育成に向けた効果的な学習過程の構想及び実践と、生徒自らが課題を設定し解決、探究する能力を高めていく指導の充実
- ・言葉による見方・考え方を働かせる言語活動の充実と言語環境の整備

2 社会生活の充実に向け、思考力や判断力を伸ばし、伝え合う力を高める指導

- ・言語感覚を磨き、物事を深く豊かに感じ取る力を育むとともに、生徒が主体的に課題を発見し、解決していくための思考力や判断力を伸ばす指導の充実
- ・互いの立場や考えを尊重しながら、目的や場に応じて効果的に伝え合う力を高める指導を体系的に行う工夫

3 読書活動の充実に回り、図書や資料等で得た情報を活用する力を育む指導

- ・図書館の利活用を図るとともに、読書を通して人生を豊かにしようとする態度を養い、読書の意義や効用の理解を深めるための指導の工夫
- ・生徒が目的に応じて学校図書館やICT等を活用し、多様な情報と既習の知識や経験を結び付けるなどして、考えを広げたり深めたりするための指導の工夫

◎課題意識や見通しをもって主体的に言語活動に取り組み、言語に対する関心や認識を深め、国語を尊重しようとしている。

◎日常生活・社会生活に必要な言語能力の基礎を身に付け、読み取ったことや考えたことを目的や条件に応じて適切に表現している。

◎互いの立場や考えを尊重しながら、言葉を通して思いや考えを適切に表現して、伝え合っている。

◎日常的に読書に親しむとともに、目的や意図に応じて、図書や資料、新聞、インターネット等から必要な情報を選択し、活用している。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・小学校、中学校、高等学校の目標及び内容の系統性を踏まえた指導計画の作成
- ・古典の楽しみ方、古典への親しみ方を学ぶ「伝統的な言語文化」に関する学習指導の充実
- ・資質・能力の系統性を踏まえた当該学年の指導事項の確かな理解と、学びの連続性を考慮した学習指導の充実

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・読書や「伝統的な言語文化」に関して専門性を有する地域人材や、地域の伝統文化等に関する素材を活用した授業、研修会等の実施

社会 小学校

1 多角的な思考や理解を図り、公正に判断する力を養う指導

- ・児童や学校、地域の実態を踏まえ、生活科等との関連や中学校への接続・発展を意識した指導計画の作成と改善
- ・単元など内容や時間のまとまりを見通した指導計画に基づく適切な評価の実施と、評価を踏まえた学習や指導の改善
- ・位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係等に着目して、社会的な事象について考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりする活動の充実
- ・事実を基に多角的に考えたことや選択・判断したことを、論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなどの言語活動の充実

2 具体的、基礎的資料等に基づき、地域の人々と触れ合いながら、協働的に学ぶ学習活動の展開

- ・児童の興味・関心を高め、疑問を引き出す導入資料の工夫と、学習のねらいなどを踏まえた学習問題の設定
- ・具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動、問題解決的な学習等の一層の充実
- ・事実に基づいて追究できる教材の工夫と、地域の人々や他の児童などと積極的に関わり、よりよい社会を考え主体的に問題解決しようとする学習活動の充実
- ・学習対象とする社会の広がりに応じた学習の仕方を身に付けるための、系統的、段階的な指導の充実

社会 中学校

1 多面的・多角的な考察や深い理解を図り、公正に判断する力を養う指導

- ・生徒や学校、地域の実態を踏まえ、小学校及び各分野との有機的な関連や、高等学校への接続・発展を意識した指導計画の作成と改善
- ・単元など内容や時間のまとまりを見通した指導計画に基づく適切な評価の実施と、評価を踏まえた学習や指導の改善
- ・分野の特質に応じた見方・考え方を働かせ、社会的な事象について考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする活動の充実
- ・事実を基に多面的・多角的に考察、構想したことを、論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなどの言語活動の充実

2 諸資料に基づき、地域社会と関わりながら、協働的に学ぶ学習活動の展開

- ・生徒の興味・関心を高め、疑問を引き出す導入資料の工夫と、学習のねらいなどを踏まえた学習問題の設定
- ・作業的で具体的な体験を伴う学習やそれに基づく表現活動、適切な課題を設けて行う学習等の一層の充実
- ・事実に基づいて追究できる教材の工夫と、地域社会や他の生徒などと積極的に関わり、よりよい社会の実現を視野に主体的に問題解決しようとする学習活動の充実
- ・分野の特質に応じた学び方を身に付けるための、意図的、計画的な指導の充実

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・社会的な事象を自分との関わりの中で捉え学習を進めていく手立てを工夫するとともに、学習のまとまり等に応じて適切な視点を基に振り返る場面を設定し、学習内容を客観的に捉えられるようにする。
- ・社会的な見方・考え方を働かせ、具体的な事実を結び付けて社会的な事象の特色や意味を説明したり、学習したことを基に社会との関わりについて考えたりする学習活動の充実を図る。
- ・情報を収集する、視点を基に考察する、自分の考えを表現するなどの場面において、ICTを活用するなどして、児童生徒一人一人に応じた学習活動の充実を図る。

地理歴史 高等学校

- 1 多面的・多角的な考察や深い理解を図り、課題の解決に向けた力を養う指導
 - ・生徒や学校、地域の実態を踏まえ、中学校との接続・連携を意識した指導計画の作成と改善
 - ・概念などを活用して考察する力、課題の解決に向けて構想する力、効果的に説明したり、議論したりする力を養う学習等の充実
 - ・地理や歴史に関わる事象について、多面的・多角的な考察や深い理解を図る指導と評価の工夫
- 2 諸資料に基づき、地域社会と豊かに関わりながら主体的に学ぶ学習活動の展開
 - ・主体的な学びを促し、主題や問いを設定して追究する学習の一層の充実
 - ・追究、考察した過程や結果について、適切に表現する能力と態度を培う学習活動の工夫

公民 高等学校

- 1 多面的・多角的な考察や深い理解を図り、課題の解決に向けた力を養う指導
 - ・生徒や学校、地域の実態を踏まえ、中学校との接続・連携を意識した指導計画の作成と改善
 - ・事実を基に概念などを活用して考察する力、課題の解決に向けて公正に判断する力、構想したことを議論する力等を養う学習等の充実
 - ・現代の諸課題について、多面的・多角的な考察や深い理解を図る指導と評価の工夫
- 2 諸資料に基づき、現代の諸課題を多様な観点から捉え、主体的に学ぶ学習活動の展開
 - ・主体的な学びを促し、主題や問いを設定して追究する学習の一層の充実
 - ・追究、考察した過程や結果について、適切に表現する能力と態度を培う学習活動の工夫

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

- ◎社会的事象から学習問題を見だし、生活経験や既習内容、既得の技能等を活用して予想や学習計画を考え、学習の見通しをもつことができる。
- ◎事実を根拠にして、調べて分かったことや考えたことを表現したり、多様な考えを分類したりすることができる。
- ◎必要な情報を収集・整理し、社会的事象を比較・関連付け・総合して見たり考えたりすることができる。
- ◎社会的事象の意味や意義、特色や事象間の関連について、多面的・多角的に考察し、構想（選択・判断）することができる。
- ◎学習したことを生かし、社会生活に見られる課題を主体的に解決しようとすることができる。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

- 1 校種間連携共通実践事項
 - ・興味・関心を高める地域素材や人材を活用した、作業的で具体的な体験を伴う学習活動の充実
 - ・社会的事象を多面的・多角的に考察し、説明、論述、議論する言語活動の充実
 - ・他校種の学習内容とのつながりなど、接続・発展を意識した指導計画の作成と実践
- 2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働
 - ・家庭や地域、企業との連携・協働による、主体的に社会の形成に参画する場の設定
 - ・大学教員や専門的知識を有する地域人材、企業人等との連携・協働による授業づくり

算 数 小 学 校

- 1 主体的な問題解決を通して、学習の仕方を身に付け、考える力を育てる指導
 - ・児童の気付きや考えを生かす学習展開
 - ・問題解決的な学習過程の重視
 - ・数学的に表現する力を育む指導の工夫
 - ・学び合いや学んだことの活用を重視し、考えを広げたり深めたりする展開の工夫
 - ・学年間や校種間の内容の系統性を重視した指導の工夫
- 2 ねらいの明確化、手立ての工夫による基礎・基本の確実な定着を図る指導
 - ・単元など内容や時間のまとまりを見通した指導と評価の計画に基づく、適切な評価と評価を生かした指導の工夫改善
 - ・児童自らが課題意識をもち、分かったことやできたことを実感できる学習の充実
 - ・実態把握に基づく個に応じた指導の充実
 - ・意味の理解と概念の形成、数量や図形についての豊かな感覚を大事にした学習の充実
- 3 数学的活動の充実を図り、数学のよさや学ぶことの楽しさに気付く指導
 - ・数学的な見方・考え方を働かせながら、事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する学習過程の充実
 - ・児童が数学的な見方・考え方を働かせることのよさなど、数学のよさに気付くことができる学習の充実
 - ・算数で学んだことを生活や学習の様々な場面で活用しようとする態度を育む指導の工夫

数 学 中 学 校

- 1 主体的な問題解決を通して、数理的に考察する力や問題解決の能力を伸ばす指導
 - ・生徒の気付きや考えを生かす学習展開
 - ・問題解決的な学習過程の重視
 - ・数学的に表現する力を高める指導の工夫
 - ・学び合いや学んだことの活用を重視した発展的、創造的な学習展開の工夫
 - ・学年間や校種間の内容の系統性を重視した指導の工夫
 - ・問題解決能力を伸ばす課題学習の実践
- 2 ねらいの明確化、手立ての工夫による基礎・基本の確実な定着を図る指導
 - ・単元など内容や時間のまとまりを見通した指導と評価の計画に基づく、適切な評価と評価を生かした指導の工夫改善
 - ・生徒自らが課題意識をもち、分かったことやできたことを実感できる学習の充実
 - ・実態把握に基づく個に応じた指導の充実
- 3 数学的活動の充実を図り、数学のよさや学ぶことの楽しさを実感する指導
 - ・数学的な見方・考え方を働かせながら、事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する学習過程の充実
 - ・生徒が数学的な見方・考え方を働かせることのよさなど、数学のよさを実感できる学習の充実
 - ・数学を生活や学習の様々な場面で活用しようとする態度を育む指導の工夫

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・児童生徒自らが、問題の解決に向けて見通しをもち、粘り強く取り組み、問題解決の過程を振り返り、よりよく解決したり、新たな問いを見いだしたりする活動の充実を図る。
- ・事象を数学的な表現を用いて説明し合うことを通して、新しい考えを理解するとともに、意味の理解を深め、概念を形成するなど、学習内容を既習の知識と統合する学習場面を設定する。
- ・ICTを効果的に活用することで、数量や図形についての感覚を豊かにしたり、表やグラフを用いて表現する力を高めたりする。

数 学 高等学校

1 主体的な問題解決を通して、数学的に考察し表現する力や問題解決の能力を伸ばす指導

- ・問題解決的な学習過程を重視し、生徒が達成感や充実感をもてるような学習活動の工夫
- ・得られた知識などを既習の知識などと合わせ、批判的に検討することにより、体系的に整理できるようにする指導の工夫
- ・数学への興味・関心を高め、論理的な思考力、想像力、直観力等の創造性の基礎を培うための学習展開

2 ねらいの明確化、手立ての工夫による基礎・基本の確実な定着を図る指導

- ・単元など内容や時間のまとまりを見通した指導と評価の計画に基づく、適切な評価と評価を生かした指導の工夫改善
- ・生徒自らが課題や到達目標を把握し、学びの成果や自己の変容を実感できる学習の充実

3 数学的活動の充実を図り、数学のよさを認識できる指導

- ・数学的な見方・考え方を働かせながら、事象を数理的に捉え、数学の問題を見だし、問題を自立的、協働的に解決する学習過程の充実
- ・生徒が数学的な見方・考え方を働かせ粘り強く考え、数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度を育む指導の工夫

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

◎数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に身に付けている。

◎言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりすることができる。

◎事象を数理的・数学的に考察する過程で、推測したり見いだしたりした数や図形の性質などを的確に表したり、根拠を明らかにして筋道立てて説明したりして、合理的、論理的に考えることができる。

◎算数・数学を学ぶことの意義や有用性を実感し、学習し身に付けたものを日常生活や他教科等の学習、より進んだ算数・数学の学習へ活用しようとする。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・各校種で身に付けた学びのスタイルの効果的な活用
- ・児童生徒の実態に応じた学び直しの機会の意図的な設定や反復による指導の充実
- ・見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視
- ・学び合いを通して自分の考えの広がりや深まりを実感できる授業の工夫

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・専門的知識を有する大学教員や地域人材、企業人等を招いた授業の工夫

理科 小学校

- 1 自然の事物・現象についての理解を図り、問題を科学的に解決するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする指導
 - ・問題解決の過程を通して、自然の事物・現象についての児童のイメージや素朴な概念などを、観察、実験などの結果から科学的に捉え直す学習活動の充実
 - ・器具や機器などを目的に応じて工夫して扱い、観察、実験の過程や結果を適切に記録する能力を育成する学習活動の充実
- 2 見通しをもって観察、実験などを行い、問題解決の力を養う指導
 - ・自然の事物・現象から問題を見だし、根拠のある予想や仮説を基に解決の方法を発想する学習活動の充実
 - ・観察、実験の結果を整理し、差異点や共通点を基に、性質を捉えたり、規則性を見いだしたりするなどの学習活動の充実
 - ・個人で考えたことを、意見交換したり、根拠を基に議論したりして、自分の考えをより妥当なものにする学習活動の充実
- 3 自然を愛する心情や主体的に問題解決しようとする態度を養う指導
 - ・地域の自然に親しむ活動や体験的な活動を取り入れ、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う指導の工夫
 - ・自然の事物・現象に意欲的に関わり、学んだことを日常生活に当てはめてみようとする態度を養う指導の工夫
 - ・観察、実験などの体験的な学習活動の充実と事故防止のための安全指導の徹底

理科 中学校

- 1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする指導
 - ・生徒が自らの力で、自然の事物・現象に対する概念や知識を獲得し、理解を深めて体系化していく学習活動の工夫
 - ・探究の過程を通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける学習活動の工夫
- 2 見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う指導
 - ・自然の事物・現象から問題を見だし、根拠のある予想や仮説を基に科学的に解決する方法を立案する学習活動の工夫
 - ・観察、実験の結果を分析して解釈したり、科学的な根拠を基に議論して自分の考えをより妥当なものにしたりするなどの学習活動の工夫
 - ・実験の方法や考察の妥当性を検討したり、新たな問題を見いだしたりするなど、探究の過程を振り返る学習活動の工夫
- 3 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う指導
 - ・地域の環境や学校の実態を生かし、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う指導の工夫
 - ・自然体験の大切さや、日常生活や社会における科学の有用性を実感し、科学的に探究しようとする態度を養う指導の工夫
 - ・観察、実験などの体験的な学習活動の充実と危険性の認識を踏まえた事故防止のための安全指導の徹底

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・理科の見方・考え方を働かせながら、問題解決の過程及び探究の過程を通して学ぶことにより、理科で育成を目指す資質・能力を獲得できるようにする。
- ・学習評価については、児童生徒の学習改善や教師の指導改善につながるように、問題解決の過程及び探究の過程における評価場面や評価方法を、意図的・計画的に設定する。
- ・ICTの活用にあたっては、観察、実験等における事実を写真や動画で確認したり、考えを可視化して説明したりするなど、活用場面や方法を吟味し、学習の質を高められるようにする。

理 科 高等学校

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

1 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする指導

- ・生徒が自らの力で、自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を獲得し、理解を深めて体系化していく学習活動の工夫
- ・探究の過程を通して、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける学習活動の工夫

2 自ら課題を設定し、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う指導

- ・自然の事物・現象から見いだした問題を基に課題を設定し、仮説を立て、科学的に探究するための検証計画を立案する学習活動の工夫
- ・観察、実験の結果を論理的に考察して表現・伝達したり、探究の過程を適宜振り返ったりする学習活動の工夫
- ・時代の進展に即応できるような柔軟な思考力や、新しい進歩を生み出す創造的な能力を育成する学習活動の工夫

3 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う指導

- ・自然体験や科学的な体験の充実及び日常生活や地域と関連付けた指導の工夫
- ・自然と調和しながら持続可能な社会をつくるため、科学的な根拠に基づき多面的に判断する態度を養う指導の工夫
- ・薬品の適切な管理及び廃棄、器具や機器等の整備点検及び事故防止のための安全指導の徹底

◎関心や意欲をもって自然の事物・現象に関わり、見いだした問題を解決するために見通しをもって観察、実験などに取り組んでいる。

◎理科の見方・考え方を働かせて観察、実験などを行い、その結果を分析して解釈するなど、科学的な根拠を明らかにして論理的に思考する力を身に付けている。

◎科学的に探究する過程において思考したことを、科学的な言葉や概念を使用して説明する力を身に付けている。

◎郷土の自然環境に愛着をもち、その保全に寄与する態度を身に付けている。

◎科学技術と日常生活や社会との関わりを踏まえ、理科を学ぶことの意義や有用性を実感している。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・学習内容の系統性に基づいた学びを通して、理科の見方・考え方を自在に働かせ、科学的な思考力を養うことができるようにするための学習の展開
- ・観察、実験を中心とした理科の面白さの実感や有用性の認識につながるような問題解決の活動、科学的に探究する活動の展開

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・博物館や水族館、プラネタリウム等の施設や設備、資料の積極的な活用による学習活動の充実
- ・大学や企業との連携による先端技術に触れる機会の設定など、探究活動や課題研究等の充実

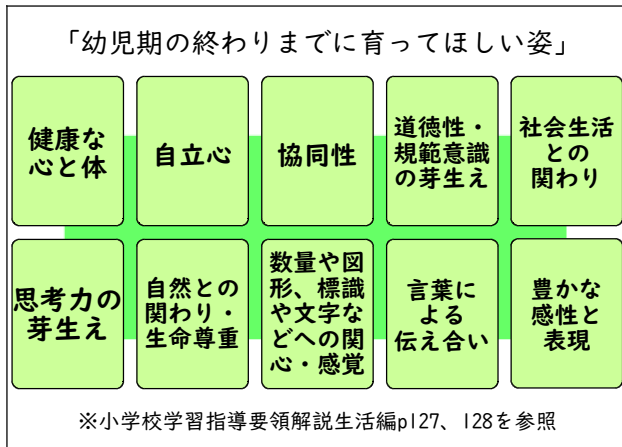
生 活

接続期の教育

1 学びの基礎力を育成するための指導

幼児期における生活や遊びを通した総合的な学びから、小学校教育の各教科等における自覚的な学びへ移行する期間を「接続期」と捉え、円滑に移行できるよう生活科を中心とした合科的・関連的な指導等の工夫を行う。

子どもの発達と学びの連続性を確保するためには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりに、幼児期から児童期への発達の流れについて相互理解を深め、指導の充実を図る。



2 円滑な接続のための取組の推進

次の四つの視点を基に取組を進める。

- 視点1** 幼児と児童の交流活動
- 視点2** 教職員の連携・研修
- 視点3** カリキュラムの改善
- 視点4** 家庭や地域社会との連携

1 具体的な活動や体験を一層重視した、気付きの質を高める指導

- ・身近な対象に繰り返し関わる活動や体験を通して生まれた多様な気付きを、意味付けたり価値付けたりする指導の工夫
- ・「見付ける」「比べる」「たとえる」「試す」「見通す」「工夫する」などの多様な学習活動の保障
- ・ストーリー性を重視して複数の単元を関連付けるなど、2年間を見通した特色ある指導計画の改善（生活科を中核に据えた教科等横断的な視点からの教育課程の編成）

2 自然の不思議さや面白さを実感できる指導

- ・諸感覚を使って繰り返し自然と触れ合ったり、思いや願いをもって関わったりして、身近な自然を観察する活動の設定
- ・自然の中で遊びに浸り、遊び自体の面白さを実感できる場や機会の工夫
- ・見通しと事実が異なっていたときに生まれる疑問や、目に見えないものの働きが見えてきたときに見つけたきまり、形や色、光や音、自然現象そのものなど、自然の不思議さを実感できる単元や学習環境の工夫

3 伝え合い交流する活動の充実

- ・関わることの楽しさが分かり、進んで交流することができるようにするための指導の工夫

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、よりよい生活に向けて思いや願いを実現しようとする考え方を生かした学習活動の充実を図る。
- ・学習活動の成果や過程を表現し、振り返る活動の充実を図る。
- ・他者との協働や伝え合う活動、双方向性のある活動の充実を図る。
- ・低学年児童の発達の段階や特性及び生活科の特性に十分配慮し、「気付きを促す」「気付きの質を高める」ための多様な学習活動の中で、計画的かつ効果的にICTの活用を図る。

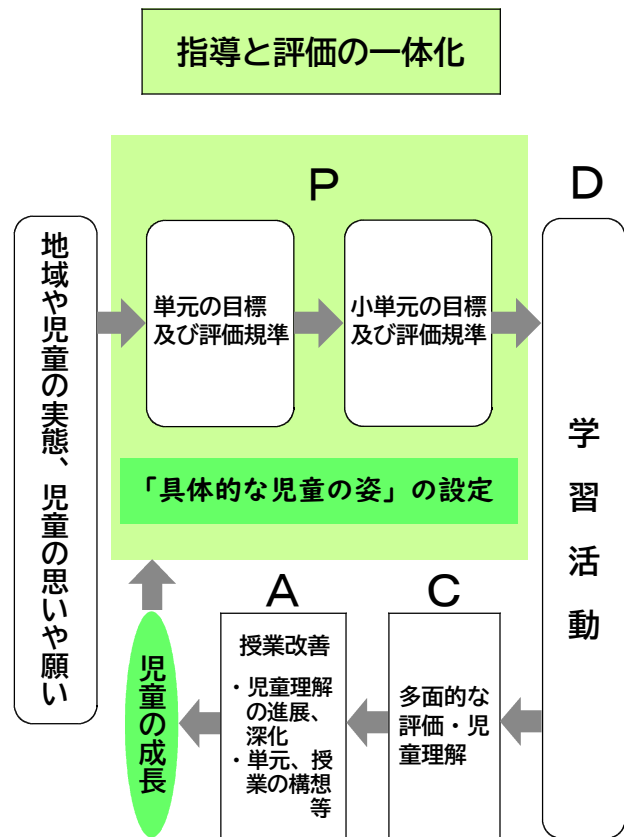
4 安全教育や生命に関する教育の充実

- ・自分の役割を考えた安全で適切な行動、地域に関する学習活動の充実
- ・継続的な飼育、栽培を行うことによる生命の尊さを実感できる指導の充実

5 学習や生活への意欲を高める指導と評価の充実

- ・児童を見取る基本姿勢としての「*四つの目」の重視
- ・評価規準を基に学習状況を確実に見取るための「具体的な児童の姿」の設定
- ・児童の思いや願いの実現に向けた主体的な活動につなげる手立ての工夫
- ・活動や体験の過程、表現する姿を重視した見取りの工夫
- ・気づきに共感したり、問い掛けたり、価値付けたりするなどの支援の工夫

- 「*四つの目」：①温かい目（児童と双方向の関係を築き、共感的な児童理解に基づいて見取る姿勢）
 ②広い目（様々な立場からの評価資料を収集して、多面的に見取る姿勢）
 ③長い目（児童の学びを長期的な文脈の中で見取る姿勢）
 ④基本の目（学習指導要領の趣旨を踏まえ、評価規準に照らして見取る姿勢）



3年生以降の学習への接続を見通した子どもの姿

- ◎ふるさとを舞台に、自分のよさや可能性に気付く。
- ◎自らの気づきを振り返ったり、互いの気づきを交流したりして学び合う。
- ◎「見付ける」「比べる」「たとえる」などの多様な学習活動を行いながら、気づきを比較したり、分類したり、関連付けたりするなどして分析的に考える。
- ◎「試す」「見通す」「工夫する」などの創造的に考える学習活動を行うことで、より質の高い気づきを生み出す。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

地域の「人・もの・こと」に、直接繰り返し関わる体験的な活動の充実を図る。

- ・地域で生活したり働いたりしている人々との交流
- ・地域の季節や行事に関わる活動、地域の自然の観察
- ・公共物や公共施設の利用体験
- ・家庭生活について考える機会の設定 等

外国語活動、外国語（英語） 小学校

- 1 言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地や基礎となる資質・能力を養う指導
 - ・コミュニケーションの楽しさや大切さを実感し、主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う指導の充実
 - ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況等を明確にし、自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の充実
 - ・英語の音声や表現に十分に慣れ親しむとともに言葉の面白さや豊かさ、多様な考え方に気付くことができる指導の充実
 - ・高学年における「読むこと」及び「書くこと」の段階的な指導の充実
 - ・児童が表現の工夫に気付いたり内容を深めたりするための指導の充実
 - ・A L T等の人材やI C Tの効果的な活用と、英語に触れる機会の拡充
- 2 適切な目標の設定と指導計画の工夫改善
 - ・児童の発達段階や実態を踏まえた学年ごとの目標の設定
 - ・児童の興味・関心及び他教科等との関連を図った学習内容や指導計画の工夫
 - ・単元目標の達成に向けた適切な言語活動の設定と、授業のねらいの明確化
- 3 資質・能力の育成につながる評価の充実
 - ・適切な評価規準に基づくねらいの達成状況の具体的な把握と評価の実施
 - ・児童のよさや進歩の状況を見取り、指導改善や学習改善につなげるための多様な評価の場面や方法の工夫
 - ・学習の成果を実感し、今後の学習への意欲を高める振り返りの工夫

外国語（英語） 中学校

- 1 言語活動を通して、コミュニケーションを図る資質・能力を養う指導
 - ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて言語材料を繰り返し活用し、習得できるようにする指導の充実
 - ・複数の領域を効果的に関連付けた統合的な言語活動の充実
 - ・小学校で育まれた資質・能力を踏まえ、自分の考えや気持ちなどを即興で伝え合う言語活動の充実
 - ・表現内容の適切さ、英語使用の正確さを高めるための指導の充実
 - ・生徒の理解に応じた英語使用と、A L T等の人材やI C Tを効果的に活用した指導の充実
- 2 系統性や発展性をもたせた目標の設定と指導計画の工夫改善
 - ・C A N－D O形式での学習到達目標リストの活用による授業のねらいの明確化、学習の達成状況の把握及び指導の改善
 - ・小学校における学習内容等を踏まえた年間指導計画の作成及び小・中・高の接続に配慮した指導の工夫
 - ・言語活動と、指導及び評価との関連を意識した単元計画の作成と活用
- 3 資質・能力の育成につながる評価の充実
 - ・適切な評価規準に基づくねらいの達成状況の具体的な把握と評価の実施
 - ・パフォーマンステスト等、指導改善や学習改善につながる評価の場面や方法の工夫
 - ・学習の意義や価値を実感し、今後の学習への意欲を高める振り返りの工夫

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・コミュニケーションを行う目的や必然性のある場面、状況等を明確にし、目的等に応じて、他者を尊重しながら対話が図られる言語活動を単元の中に繰り返し設定する。
- ・ねらいに沿った題材を設定し、適切な言語活動を通して資質・能力の育成を図るとともに、児童生徒が学習の見通しを立てたり振り返ったりすることで、主体的に言語活動に取り組めるようにする。
- ・事実や情報、自分の考えや気持ちなどを効果的に伝え合ったり、共有したりするために、児童生徒が学習の場面や状況に応じて主体的にI C Tを活用できるように促す。

外国語（英語） 高等学校

- 1 思考力、判断力、表現力等を高め、コミュニケーション能力を育成する指導
 - ・コミュニケーションを図る資質・能力を育成する5領域の総合的な指導の充実
 - ・コミュニケーションを行う目的や場面、状況等と言語活動を効果的に関連付けた統合的な言語活動の充実
 - ・論理の構成や展開を意識し、情報や考えなどを効果的に伝え合う言語活動の充実
 - ・ALT等の人材やAIを含めたICTを効果的に活用した指導の充実

- 2 3年間を見通した目標の設定と指導計画の工夫改善
 - ・CAN-DO形式での学習到達目標リストを活用した達成状況の把握と指導改善
 - ・5領域のバランスに配慮し、育成を目指す資質・能力と評価時期を明確にした年間指導計画及び単元計画の作成と活用
 - ・授業のねらいを明確にし、言語活動を積極的に取り入れた指導計画の策定と実践

- 3 資質・能力の育成につながる評価の充実
 - ・生徒の論理的思考力や英語運用能力を適切に測る評価の実施
 - ・計画的なパフォーマンステスト等による多様な評価の工夫
 - ・全体の場における意見共有の機会の確保と言語・内容両面へのフィードバックの充実
 - ・観点別の評価規準を明確にした、単元ごとの評価計画の作成と活用
 - ・学習の意義と効果を実感し、今後の主体的・自律的な学習への意欲を高める振り返りの工夫

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

- ◎生涯にわたり学習する基盤が培われ、外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとし、情報や考え等を理解したり伝え合ったりすることができる力が身に付いている。
- ◎場面や状況、相手の表情などから話し手や書き手の伝えたいことを的確に把握し、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。
- ◎理解できないことがあっても、確認したり、繰り返したり、推測したりするなどしてコミュニケーションを継続しようとする。また、自分の考えなどを言い直したり、強調したりするなどして、相手に伝わるように表現しようとする。
- ◎言語の背景にある文化に対し理解を深めるとともに、自国の言語や文化への理解を深め、広い視野や国際感覚、国際協調の精神を備えている。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・小学校外国語活動・外国語、中学校及び高等学校外国語の目標や内容の系統性を踏まえた指導計画の作成と連携
- ・英語で自分の考えや気持ちなどを伝え合う言語活動の工夫
- ・ALT等の人材を活用した効果的なチーム・ティーチングによる指導の充実

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・大学教員や留学生、外国語に堪能な地域人材等を活用した魅力ある授業の推進

音楽 小学校

音楽 中学校

1 音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育む指導

- ・音楽のよさや面白さ、美しさに気付き、興味・関心を膨らませるとともに、友達と関わり合いながら、音楽を学ぶ喜びを味わうことができるような指導の充実
- ・音楽的感受性を身に付けるとともに、音楽のよさや美しさなどを感じ取ることができるような指導の充実
- ・児童の発達段階を踏まえ、全ての児童が学習する内容を確実に身に付けることができるような指導計画の作成と活用

2 音楽活動の基礎的な能力を培う指導

- ・音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考えることができるような指導の充実
- ・音楽活動と言語活動を行き来しながら、音楽表現を工夫したり、音楽を聴いてよさなどを考えたりすることができるような指導の充実
- ・評価の観点の趣旨等を踏まえた学習評価の工夫と、評価に基づいた指導の改善

3 音楽と豊かに関わるための指導

- ・生活や社会における音や音楽の働きについての意識を深めていくことができるような指導の充実
- ・我が国や郷土の音楽及び諸外国の様々な音楽に出会い、それらの音楽に親しむ態度を育てる指導の充実

1 音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにする指導

- ・音楽活動によって生まれる楽しさや喜びを実感したり、曲想と音楽の構造との関わりなどを理解したりすることができるような指導の充実
- ・音楽を形づくっている要素の知覚・感受を基に、音楽のよさや美しさなどを感じ取ることができるような指導の充実
- ・小学校及び各学年の学びを踏まえ、全ての生徒が学習する内容を確実に身に付けることができるような指導計画の作成と活用

2 音楽活動の基礎的な能力を伸ばす指導

- ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるような指導の充実
- ・音楽活動と言語活動を行き来しながら、音楽表現を工夫したり、音楽を聴いてよさや価値等を考えたりすることができるような指導の充実
- ・評価の観点の趣旨等を踏まえた学習評価の工夫と、評価に基づいた指導の改善

3 音楽文化と豊かに関わるための指導

- ・生活や社会における音や音楽及び音楽文化についての関心や理解を深めていくことができるような指導の充実
- ・我が国や郷土の伝統音楽に愛着をもつとともに、諸外国の音楽文化を尊重する態度を育てる指導の充実

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・〔共通事項〕と各領域や分野の事項と関連した題材構成を図る。
- ・思いや意図をもって音楽表現を工夫する過程や、曲や演奏のよさなどを見だし、言葉で表しながら交流するなどして、音楽を味わって聴く過程を大切に学習の充実を図る。
- ・聴覚だけでなく、視覚などの他の感覚を働かせて音楽を捉えながら、音楽表現を創意工夫したり、音楽を聴き深めたりするために、ICTを効果的に活用する。

芸術（音楽） 高等学校

- 1 生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を高める指導
 - ・生涯にわたって音楽を生活や社会に生かしていこうとする気持ちや態度を育む指導の充実
 - ・主体的に音楽のよさや美しさなどを感じ取るとともに、表現意図をもって表現したり、自ら味わって鑑賞したりする力を育成する指導の充実
 - ・小学校及び中学校の学びを踏まえ、全ての生徒が学習する内容を確実に身に付けることができるような指導計画の作成と活用
- 2 音楽活動の創造的な能力を伸ばす指導
 - ・音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考えることができるような指導の充実
 - ・他者と協働しながら、音楽表現を生み出したり、音楽を聴いてよさや価値等を考えたりすることができるような指導の充実
 - ・評価の観点の趣旨等を踏まえた学習評価の工夫と、評価に基づいた指導の改善
- 3 音楽文化と豊かに関わるための指導
 - ・生活や社会の中の音や音楽、音楽文化についての理解を深めていくことができるような指導の充実
 - ・我が国及び諸外国の様々な音楽文化についての理解を一層深め、尊重する態度を育てる指導の充実

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

- ◎音楽と生活との関わりに関心をもって、生涯にわたり音楽文化に親しもうとする。
- ◎音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや美しさなどを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりを支えとして、音楽表現を工夫したり、音楽を味わって聴いたりしている。
- ◎音楽に関する用語や記号などを用いながら、理由や根拠をもって自分の考えを伝えている。
- ◎我が国や郷土の伝統音楽に対する理解を基盤として、我が国の音楽文化に愛着をもつとともに、我が国及び諸外国の音楽文化を尊重する態度が身に付いている。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

- 1 校種間連携共通実践事項
 - ・音楽的な見方・考え方を働かせて、どのように表現するかについて思いや意図をもったり、音楽のよさなどに対する考えをもったりする過程を大切にした指導の充実
 - ・校種間の系統性を考慮した指導計画の作成及び指導の工夫
- 2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働
 - ・生活や社会の中の音楽に関わらせるための工夫
 - ・専門的知識や技能を有する大学教員及び地域人材等を活用した魅力ある授業の推進

図画工作 小学校

- 1 造形的な視点について自分の感覚や行為を通して理解し、創造的につくったり表したりする技能を育成する指導
 - ・造形的な視点について、実感を伴って理解を深めることができる学習活動の工夫
 - ・手や体全体の感覚などを働かせ、材料や用具の特徴を生かしながら表し方を工夫し、創造的につくったり表したりすることができる学習活動の充実と、その実現のための学習環境づくり
- 2 創造的に発想や構想をしたり、作品等のよさや美しさを感じ取ったりする資質・能力を育成する指導
 - ・感性や想像力を働かせ、対象や事象を形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだす学習の充実
 - ・「造形遊びをする活動」及び「絵や立体、工作に表す活動」の、それぞれの特性を生かした学習展開や指導の工夫
 - ・身の回りの作品や材料等から感じ取ったことを交流し合う鑑賞活動の工夫
- 3 つくりだす喜びを味わい、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う指導
 - ・幼児期における活動を踏まえた、6年間を見通した指導計画の作成
 - ・生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる題材の設定と内容の充実
 - ・学習の成果である作品等について、児童の楽しいアイデアや工夫等を鑑賞することができる造形的な空間づくり

美術 中学校

- 1 対象や事象を捉える造形的な視点について理解し、表現における創造的に表す技能を育成する指導
 - ・造形的な視点について、実感を伴って理解を深めることができる学習活動の工夫
 - ・表現の意図に応じて、材料や用具などを生かした表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる学習活動の充実と、その実現のための学習環境づくり
- 2 豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化のよさや美しさを感じ取ったりする資質・能力を育成する指導
 - ・感性や想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分としての意味や価値をつくりだす学習の充実
 - ・学習の中心となる考えを明確にするとともに、主題への意識を高めさせ、造形的な視点を基に発想や構想、鑑賞に関する資質・能力が相互に関連して働く学習過程の重視
 - ・自然や生活の中の造形、美術作品等から感じ取り考えたことを交流し合う鑑賞活動の工夫
- 3 創造活動の喜びを味わい、心豊かな生活を創造しようとする態度を養う指導
 - ・小学校の学習を踏まえた、3年間を見通した指導計画の作成
 - ・生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる題材の設定と内容の充実
 - ・授業で作成した作品や鑑賞作品等について、日常的に美術鑑賞に親しむことができる美的な環境づくり

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・児童生徒一人一人が造形的な見方・考え方を働かせられるよう、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させた学習の充実を図る。
- ・ICTを活用する学習活動と、実物を見たり、実際に対象に触れたりするなどして感覚で直接感じ取らせる学習活動とを、題材のねらいに沿って吟味し、必要に応じて設定する。
- ・評価場面を精選するとともに、多様な方法を用いて児童生徒の学習活動の過程を丁寧に捉え、児童生徒の学習改善や教師の指導改善に生かす。

芸術（美術、工芸） 高等学校

- 1 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深め、表現における創造的に表す技能を育成する指導
 - ・造形的な視点について、実感を伴って理解を深めることができる学習活動の工夫
 - ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができる学習活動の充実と、その実現のための学習環境づくり
- 2 創造的な表現を工夫したり、美術、工芸のよさや美しさを深く味わったりする資質・能力を育成する指導
 - ・感性や美意識、想像力を働かせ、主体的に主題を生成する学習活動の充実
 - ・発想や構想、制作、振り返りまでの学習過程を重視した指導の充実
 - ・価値意識をもって美術や美術文化の見方や感じ方を深める鑑賞活動の工夫
- 3 生涯にわたり美術、工芸を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う指導
 - ・中学校の学習を踏まえた指導計画の作成
 - ・生涯学習を視野に入れた鑑賞活動の充実

芸術（書道） 高等学校

- 1 書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深め、効果的に表現するための技能を身に付ける指導
 - ・書の表現の方法や形式、多様性などについて、実感を伴って理解を深めることができる学習活動の工夫
 - ・意図に基づいて効果的に表現するための技能の習得に向けた学習活動の充実
- 2 創造的な表現を工夫したり、書のよさや美しさを深く味わったりする資質・能力を育成する指導
 - ・感性や美意識が働く学習活動の充実
 - ・意図に基づいて創造的に構想し表現を工夫することができる学習過程の重視
 - ・作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を捉える鑑賞活動の工夫
- 3 生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う指導
 - ・中学校国語科の書写の学習との関連を踏まえた指導の工夫
 - ・生活や社会と幅広く関わる題材の設定

小・中・高を貫いて育てる子どもの姿

- ◎造形的な視点を基に思考し、課題の解決を図ろうとする。
- ◎生活や社会の中の形や色等と豊かに関わり、美術の働きや美術文化について、理解を深めている。
- ◎感性や想像力を働かせ、対象や事象を形や色などの造形的な視点で捉え、創造的な表現や鑑賞の能力を発揮し、新しい意味や価値をつくりだしている。
- ◎美術を愛好しようとする心情が培われ、美しいものや優れたものに接して、情操を豊かにしている。

※下線は各教科等で目指したい「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

- 1 校種間連携共通実践事項
 - ・造形的な視点を基に思考を深め、創造活動の喜びを味わうことのできる学習活動の工夫
 - ・校種を越えての授業研究会への参加と、育成する資質・能力を踏まえた協議
- 2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働
 - ・専門的知識や技能を有する大学教員や学芸員、地域人材等を活用した魅力ある授業の推進
 - ・地域との協力による、生活や社会の中の美術の働きを実感できる題材の開発
 - ・児童生徒作品の校内外の展示、展覧会の開催、美術館等との連携

家庭 小学校

- 1 生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する題材及び指導計画
 - ・中学校の内容との系統性を重視するとともに、他教科等との関連を図った指導計画の作成及び工夫
 - ・育成する資質・能力を明確にし、地域や児童の実態を踏まえるとともに、内容相互の関連を図った題材の構成
 - ・日常生活から問題を見いだして課題を設定し、解決に向けて計画、実践、評価・改善した上で、家庭や地域で実践するなどの一連の学習過程を踏まえた題材の構成
- 2 生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育成する指導
 - ・日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の習得を確かなものにするための実践的・体験的な活動の充実
 - ・言葉や図表、概念等を用いて、自分の課題に基づいて生活をよりよくする方法を考えたり、体験したことを説明したり、表現したり、話し合ったりするなどの言語活動の充実
 - ・学習したことを家庭生活に生かし、継続的に実践できるようにするための家庭や地域との連携
- 3 指導の改善に生かし、児童一人一人を伸ばす評価
 - ・ねらいを達成した児童の姿を明確にした評価規準の設定
 - ・児童の学習状況を的確に捉えるための評価場面や評価方法の工夫

技術・家庭 中学校

- 1 生活を工夫し創造する資質・能力を育成する題材及び指導計画
 - ・小学校の内容を踏まえるとともに、高等学校の内容を見据え、他教科等との関連を明確にした系統的・発展的な指導計画の作成及び工夫
 - ・育成する資質・能力を明確にし、各項目及び各事項相互に有機的な関連を図り、総合的に展開されるような題材の構成
 - ・生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想した上で、実践を評価・改善し、表現するなどの一連の学習過程を踏まえた題材の構成
- 2 生活を工夫し創造する資質・能力を育成する指導
 - ・生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能の習得を確かなものにするための実践的・体験的な活動の充実
 - ・設計図や献立表といった図表、衣食住やものづくりに関する概念等を用いて考えたり、説明したりするなどの言語活動の充実
 - ・学習したことを生活や社会における問題解決の場面に活用し、現在及び将来にわたって実践できるようにするための家庭や地域社会・企業等との連携
- 3 指導の改善に生かし、生徒一人一人を伸ばす評価
 - ・ねらいを達成した生徒の姿を具体的に想定した評価規準の設定
 - ・生徒の学習状況を的確に捉えるための評価場面や評価方法の工夫

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・「生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、その解決に向けて様々な解決方法を考え、計画を立てて実践した結果を評価・改善した上で、さらに、家庭や地域で実践する」などの一連の学習過程の中で、教科の特質に応じた見方・考え方を働かせながら、課題の解決に向けて自分なりに考え、表現することができるような題材（単元）を設定する。
- ・ICTを効果的に活用し、生活事象の前後を撮影することで一人一人の学習意欲を高めたり、地域の活動の映像を視聴することで問題を見いだしたり、作品づくりの様子を撮影することでよりよい作成方法を検討したりする学習場面を設定する。

家庭 高等学校

- 1 よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する単元及び指導計画
 - ・小・中学校の内容との系統性や他教科等との関連を図った指導計画の作成及び工夫
 - ・育成する資質・能力を明確にし、知識を相互に関連付けてより深い理解につなげるための単元の構成
 - ・家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決する学習の充実を図った指導計画の工夫
- 2 よりよい社会の構築に向けて、主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する指導
 - ・実感を伴った学習活動を効率的・効果的に展開するための、学校内外の協力体制の構築と学習内容の充実
- 3 指導の改善に生かし、生徒一人一人を伸ばす評価
 - ・ねらいを達成した生徒の姿を具体的に想定した評価規準の設定

情報 高等学校

- 1 情報と情報技術を活用し、問題を発見・解決するために必要な資質・能力を育成する単元及び指導計画
 - ・中学校までの各教科等において育成された情報活用能力を更に高める単元の構成
 - ・教科等横断的に情報活用能力を育成するための指導計画の作成及び工夫
 - ・育成する資質・能力を明確にし、情報に関する科学的な見方・考え方を働かせた学習活動の充実
- 2 情報社会に参画する実践的な態度を育成する指導
 - ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用に向けた実践的な学習活動の充実
 - ・情報セキュリティや情報モラル等の知識を体験的に学習できる教材の選択と活用
- 3 指導の改善に生かし、生徒一人一人を伸ばす評価
 - ・ねらいを達成した生徒の姿を具体的に想定した評価規準の設定

小・中・高を貫いて育てる子どもの姿

- ◎生活の課題を解決するために、身に付けた知識及び技能を活用しようとしている。
- ◎これからの生活を見通し、生活的な自立を目指そうとしている。
- ◎自分と家族、家庭生活と地域とのつながりを大切にし、社会の変化に積極的に対応しようとしている。
- ◎言葉や図表、概念等を用いて自分の考えを表現したり、根拠や価値観を共有したりする中で生活を工夫しようとすることができる。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

- 1 校種間連携共通実践事項
 - ・地域の素材や人材を生かした、実習、観察・実験、見学、調査・研究等の実践的・体験的な学習活動の充実
 - ・地域社会や生活での実践を意識した問題解決的な学習の充実
- 2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働
 - ・専門的知識・技能を有する地域人材等を活用した授業の工夫
 - ・校外学習等における協力体制の確立及び効果的に学習を進めるための家庭との情報共有

体 育 小 学 校

保健体育 中 学 校

1 全ての児童が運動の楽しさや喜びを味わうための指導の充実

- ・12年間の系統性を踏まえ、6年間を見通した年間指導計画の検証・改善
- ・育成を目指す資質・能力の具体的な指導内容及び学習評価を意図的・計画的に設定した指導と評価の計画の検証・改善
- ・楽しく、安心して運動に取り組むとともに、学習した結果として体力の向上につながる指導の工夫・改善
- ・体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方や関わり方を共有することができるよう配慮した指導の工夫

2 「体づくり運動」の充実

- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにし、児童が運動好きになる授業の展開
- ・低・中学年では、様々な基本的な体の動きを身に付けることができるように、高学年では、体の動きを高めることができるようにする指導方法の工夫
- ・学習したことを家庭などで生かすことができるようにする指導の充実

3 健康課題を解決する保健の指導の充実

- ・身近な生活における健康・安全に関する基礎的・基本的な内容について、運動領域との一層の関連を図りながら、より実践的な理解を図る指導方法の工夫
- ・自己の健康に関心をもつとともに、健康に関する課題を見付け、解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫

1 全ての生徒が運動の楽しさや喜びを味わうための指導の充実

- ・12年間の系統性を踏まえ、3年間を見通した年間指導計画の検証・改善
- ・育成を目指す資質・能力の具体的な指導内容及び学習評価を意図的・計画的に設定した指導と評価の計画の検証・改善
- ・楽しく、安心して運動に取り組むとともに、学習した結果として体力の向上につながる指導の工夫・改善
- ・体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう配慮した指導の工夫

2 「体づくり運動」の充実

- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする授業の展開
- ・いくつかの運動を組み合わせる取り組みができるようにする指導の工夫
- ・健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識できるようにし、運動やスポーツの習慣化につなげる指導の工夫
- ・学習したことを学校の教育活動全体や実生活で生かすことができるようにする指導の充実

3 健康課題を解決する保健の指導の充実

- ・個人生活における健康・安全に関する内容について、体育分野との一層の関連を図りながら、より科学的な理解を図る指導方法の工夫
- ・自他の健康に関心をもつとともに、健康に関する課題を発見し、解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・児童生徒が運動の楽しさや健康の大切さを実感できるよう、目標や見通しをもって課題を解決する学習活動の充実を図る。
- ・児童生徒の思考を広げ深めるため、動きの可視化や健康情報の分類・整理にICTを効果的に活用するなど、学びに必要な指導の在り方を工夫し、学習環境の充実を図る。
- ・児童生徒の深い学びにつなげるため、体育や保健の見方・考え方を働かせ、新たな課題や目標を見付けるなどの質の高い学びを促す工夫をする。

保健体育 高等学校

1 全ての生徒が運動の楽しさや喜びを味わうための指導の充実

- ・12年間の系統性を踏まえ、卒業後も見通した年間指導計画の検証・改善
- ・育成を目指す資質・能力の具体的な指導内容及び学習評価を意図的・計画的に設定した指導と評価の計画の検証・改善
- ・楽しく、安心して運動に取り組むとともに、学習した結果としてより一層の体力の向上につながる指導の工夫・改善
- ・体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を社会で実践することができるよう配慮した指導の工夫

2 「体づくり運動」の充実

- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうことができるようにする授業の展開
- ・日常的に取り組める運動例を組み合わせることに重点を置くなどの指導の工夫
- ・自己のねらいに応じて継続的な運動の計画を立て、実践することで運動やスポーツの習慣化につなげる指導の工夫
- ・学習したことを地域などの実社会で生かすことができるようにする指導の充実

3 健康課題を解決する保健の指導の充実

- ・個人及び社会生活における健康・安全に関する内容について、体育と一層の関連を図りながら、より総合的な理解を図る指導方法の工夫
- ・自他の健康やそれを支える環境づくりに関心をもつとともに、健康に関する課題を発見し、解決する学習活動を取り入れるなどの指導方法の工夫

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

～豊かなスポーツライフの 実現・継続に向けて～

◎心と体を一体として捉え、健康・安全や運動についての理解と運動の合理的、計画的な実践を通して、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現・継続する資質・能力を身に付けている。

◎健康の保持増進と体力の向上を図るための実践力や明るく豊かで活力ある生活を営む態度を身に付けている。

◎体を動かすことや話し合う活動等を通して、生涯にわたって運動に親しむための基礎的な身体能力や知識、論理的思考力、コミュニケーション能力等を身に付けている。

◎健康・安全に関する課題やその解決方法を見付けたり選んだりするなど、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質・能力を身に付けている。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・三つの資質・能力のバランスを重視した指導
- ・児童生徒の実態や運動の特性を踏まえた個に応じた指導の工夫
- ・指導や学習の改善に生かす指導と評価の一体化の推進

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・専門性を有する地域人材の活用や大学教員等の有識者による助言・提言を反映させた授業の推進
- ・日常生活において自ら進んで運動を適切に実践する習慣の形成に向けた学校・家庭・地域の連携

専門学科

農 業

1 指導の工夫改善

- ・各学校や各地域の実態に応じた実践的・体験的な学習活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・農業に関する課題の発見及び科学的な根拠に基づいて課題を解決する力の育成に向けた地域資源を活用したプロジェクト学習の充実

2 研修内容の充実

- ・農業技術の進展に対応した指導力の向上を図るための実践的な研修の充実

商 業

1 指導の工夫改善

- ・商業の各分野の学びを生かした実践的・体験的な学習活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
- ・倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に課題を解決できる力の育成に向けた探究的な学習の充実

2 研修内容の充実

- ・経済社会を取り巻く環境の変化に対応した指導内容の充実と、学びの質を高める指導方法の工夫改善を図るための組織的な研修の充実

工 業

1 指導の工夫改善

- ・職業人に求められる倫理観等を育成するための実践的・体験的な学習活動の充実
- ・地域等の課題を主体的かつ創造的に解決する資質・能力を育成するための探究的な学習の充実

2 研修内容の充実

- ・科学技術の進展や産業構造の変化に対応した指導内容の充実と、指導方法の工夫改善や指導力の向上を図るための実践的な研修の充実

水 産

1 指導の工夫改善

- ・地域の実態に応じた実践的・体験的な学習活動の充実と、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善
- ・水産業や海洋関連産業の振興や社会貢献に取り組むことのできる人材の育成に向けた、関係諸機関等との連携による探究的な学習の充実

2 研修内容の充実

- ・水産海洋技術の高度化に対応した指導力の向上を図るための実践的な研修の充実

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・生徒が自ら「問い」を発し、各教科等で身に付けた知識・技術等を活用できる学習活動の充実を図る。
- ・各教科の「見方・考え方」を働かせ、科学的な根拠に基づき、多面的・多角的に考察しながら創造的に探究するなどの実践的・体験的な学習活動の充実を図る。
- ・産業教育に求められる専門的な知識・技術の変化などに対応するため、ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

家庭

1 指導の工夫改善

- ・家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、専門的な知識と技術などを相互に関連付けて学びを深めることができる単元及び指導計画の工夫
- ・生活の質の向上と社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力の育成に向けた、課題解決的な学習の充実

2 研修内容の充実

- ・教員の専門性を高め、指導力の向上を図る実践的な研修の充実

情報

1 指導の工夫改善

- ・情報の科学的理解に基づき、合理的かつ創造的に課題を解決できる人材の育成を目指した、地域や産業界との連携による実践的・体験的な学習の充実
- ・先端情報技術を取り入れながら、情報技術者として求められる基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その成果を創造的、実践的に活用できる能力の育成に向けた学習の充実

2 研修内容の充実

- ・各分野の専門的な知識と技術の習得や、総合的科目の指導方法の改善を図るための実践的な研修の充実

福祉

1 指導の工夫改善

- ・人生100年時代における持続可能な福祉社会の発展を担う職業人の育成に向けた、専門的な知識や技術などを基に実際の福祉に対する理解を深める学習活動の充実
- ・地域や関係機関等との連携・交流を通じた実践的・体験的な学習活動や就業体験活動の充実

2 研修内容の充実

- ・福祉ニーズの高度化と多様化に対応した専門性と指導力の向上を図るための実践的な研修の充実

専門学科・系列がある公立高校

| 大学科 | 学校名 | 学科(系列)名 |
|------|---------------------|--------------------------|
| 農 業 | 秋田北鷹 | 生物資源、緑地環境 |
| | 能代科学技術 | 生物資源、生活福祉 |
| | 金足農業 | 生物資源、環境土木、食品流通、造園緑地、生活科学 |
| | 西目 | 総合学科(農業科学)※ |
| | 大曲農業 | 農業科学、食品科学、園芸科学、生活科学 |
| | 増田 | 農業科学 |
| 工 業 | 鹿角 | 産業工学 |
| | 大館桂桜 | 機械、電気、土木・建築 |
| | 能代科学技術 | 機械、電気、建設 |
| | 男鹿工業 | 機械、電気電子、設備システム |
| | 秋田工業 | 機械、電気エネルギー、土木、建築、工業化学 |
| | 由利工業 | 機械、電気、環境システム、建築 |
| | 西目 | 総合学科(土木)※ |
| | 大曲工業 | 機械、電気、土木・建築 |
| | 横手清陵学院 | 総合技術 |
| 湯沢翔北 | 工業技術 【専攻科】生産技術 ※ | |
| 商 業 | 大館国際情報学院 | 国際情報 |
| | 能代松陽 | 情報ビジネス |
| | 秋田商業 | 商業 |
| | 西目 | 総合学科(ビジネス会計)※ |
| | 大曲 | 商業 |
| | 平成 | 総合ビジネス |
| | 増田 | 総合学科(ビジネス会計)※ |
| 湯沢翔北 | 総合ビジネス | |
| 水 産 | 男鹿海洋 | 海洋、食品科学 |
| 家 庭 | 大館桂桜 | 生活科学 |
| | 増田 | 総合学科(生活・福祉)※ |
| 情 報 | 仁賀保 | 情報メディア |
| 福 祉 | 六郷 | 福祉 |
| | 増田 | 総合学科(生活・福祉)※ |
| | 湯沢翔北 | 【専攻科】介護福祉 ※ |

※()は系列名、【専攻科】は高校卒業後の2年課程

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・地域産業への理解を深め、社会を支える自覚や職業観を育むキャリア教育の充実
- ・各校の特色を生かした、小・中学生との交流学習の充実

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・専門的知識や技術を有する大学教員や地域人材、企業人等の積極的な活用

特別の教科 道徳、道徳教育

特別の教科 道徳 小学校

- 1 道徳教育の要としての道徳科の充実
 - ・道徳教育の全体計画及びその別葉に基づく、道徳教育推進教師等を中心とした組織的な指導の充実
 - ・児童の発達段階や実態に即し、各教科等及び各学年相互間の関連を図ることによる道徳科の系統的、発展的な取組
 - ・児童が自己の生き方を考え、将来への夢や希望をもてるような、教師と児童及び児童相互の温かい人間関係の醸成
 - ・体験活動等と関連付けた指導や、学校と家庭、地域社会が連携した指導の工夫
- 2 物事を多面的・多角的に考え、自分との関わりの中で、道徳的価値の自覚を深める指導過程及び指導方法の工夫
 - ・多様な感じ方や考え方によって学び合うことができるような授業を展開するための、児童の実態把握と、それを踏まえた指導の意図の明確化
 - ・児童の発達段階や特性等を考慮した道徳的価値に関する問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等の実践
- 3 一人一人のよさや成長の様子を見取る評価と、指導に生かす工夫
 - ・児童がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます視点からの評価の工夫
 - ・道徳科の評価の考え方や評価方法などを学校で共通理解することによる組織的・計画的な評価の推進
 - ・児童の学習状況の適切な把握による評価の工夫と、評価を生かした指導の改善

特別の教科 道徳 中学校

- 1 道徳教育の要としての道徳科の充実
 - ・道徳教育の全体計画及びその別葉に基づく、道徳教育推進教師等を中心とした組織的な指導の充実
 - ・生徒の発達段階や実態に即し、各教科等及び各学年相互間の関連を図ることによる道徳科の系統的、発展的な取組
 - ・生徒が人間としての生き方を考え、将来への夢や希望をもてるような、教師と生徒及び生徒相互の温かい人間関係の醸成
 - ・体験活動等と関連付けた指導や、学校と家庭、地域社会が連携した指導の工夫
- 2 物事を広い視野から多面的・多角的に考え、自分との関わりの中で、道徳的価値の自覚を深める指導過程及び指導方法の工夫
 - ・議論の中で人間の真実やよりよく生きる意味について考えを深めることができるような授業を展開するための、生徒の実態把握と、それを踏まえた指導の意図の明確化
 - ・生徒の発達段階や特性等を考慮した道徳的価値に関する問題解決的な学習や道徳的行為に関する体験的な学習等の実践
- 3 一人一人のよさや成長の様子を見取る評価と、指導に生かす工夫
 - ・生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます視点からの評価の工夫
 - ・道徳科の評価の考え方や評価方法などを学校で共通理解することによる組織的・計画的な評価の推進
 - ・生徒の学習状況の適切な把握による評価の工夫と、評価を生かした指導の改善

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の（人間としての）生き方についての考えを深める学習の充実を図る。
- ・各教科等での学びや体験から感じたことなどを統合させ、自ら道徳性を養う中で、自己を振り返って成長を実感したり、課題や目標を見付けたりすることができるよう工夫する。
- ・児童生徒同士の協働、教職員や地域の人との対話、互いの考えや意見の交流など、多様な考え方や感じ方と出会い、交流する活動の充実を図る。
- ・児童生徒の思考の可視化や、学習の記録の蓄積等において、ICTの有効活用を図る。

道徳教育 高等学校

1 豊かな人間性を育む指導の充実

- ・学校の教育活動全体を通じた、生徒の豊かな心の育成
- ・生徒が人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性の育成
- ・道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した道徳教育の全体計画の作成及び活用
- ・自己探求及び自己実現ができるような就業体験活動、ボランティア活動などの重視及び生徒の内面に根ざした道徳性の育成

2 各教科・科目等の特質に応じた道徳教育の推進

- ・各教科・科目等の特質に応じ、生徒が人間としての在り方生き方を主体的に探求し、豊かな自己形成ができる教育活動の展開
- ・公民科の「公共」及び「倫理」並びに特別活動を中核的な指導の場面とした、道徳教育の目標を踏まえた指導の充実
- ・小・中学校における道徳科との関連を踏まえた、生徒がより深く自己を見つめながら、主体的に人間としての在り方生き方についての自覚を深めることができるような指導方法の工夫

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

- ◎ 自他の生命の尊さや生きることのすばらしさを実感している。
- ◎ 思いやりの心を持ち、相手の立場や考えを尊重してよりよい人間関係を築こうとする。
- ◎ 基本的な生活習慣を身に付け、ルールやマナーを進んで守ろうとする。
- ◎ 集団や社会の一員としての自覚を深め、進んで社会や公共のために役立とうとする。
- ◎ 自己を見つめることを通して自己理解を深め、夢や希望に向かって、自らの成長を実感したりこれからの課題や目標を見付けたりしている。
- ◎ 道徳的諸価値の理解に基づいた自己の生き方や人間としての在り方生き方についての考えを深めている。
- ◎ ふるさとを愛し、より高い志をもってふるさとの発展に努めようとする。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

○参考資料

- ・【ウェブサイト】 [「『道徳教育アーカイブ』～「特別の教科 道徳」の全面实施～」](#)（文部科学省）

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・道徳性の育成に資する体験活動と道徳科等との関連を図った指導の充実
- ・小・中学校を通して重点的に育成する内容の検討及び全体計画等の作成
- ・道徳性の発達に関する校種間の情報交換による連携の推進

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・社会全体で道徳教育に取り組むための地域社会との連携・協力体制の構築
- ・学校行事や地域での体験活動等においてねらいとする道徳教育の内容や重点内容項目の明確化
- ・小・中・高等学校で育てたい児童生徒像の地域社会との共通理解・共有

総合的な学習の時間、総合的な探究の時間

総合的な学習の時間 小学校

- 1 よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成
 - ・実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立てることができるよう、児童の実態を把握し、探究課題との関わり方や出会わせ方を工夫する。
 - ・主張点を明確にしてまとめたり、話し手と聞き手が主体的に関わり合って学習成果を共有したりできるよう、「整理・分析」「まとめ・表現」における指導の在り方を工夫する。
- 2 指導計画の改善
 - ・学校の全教育活動との関連の下、目標及び内容、探究的な学習活動、指導方法や指導体制、評価の計画等の整合を図るとともに、他教科等及び学年間の関連、中学校との接続等に配慮するなどして、学習活動の充実を図る。
 - ・総合的な学習の時間の第1の目標と各学校において育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準を作成し、児童の学習状況等を適切に評価するとともに、年間指導計画の見直しを適宜行いながら、指導の改善・充実を図る。
- 3 指導体制等の充実と学習環境の整備
 - ・全教職員による指導体制を確立するとともに、地域の人々や保護者の協力を得て、多様な指導方法の工夫に努める。
 - ・児童の探究的な学びが促進されるよう、学習活動の経過や履歴を掲示するとともに、ICT、学校図書館及び地域の社会教育施設等を活用し、学びの充実を図る。

総合的な学習の時間 中学校

- 1 よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力の育成
 - ・実社会や実生活が抱える問題と向き合い、自ら課題意識をもつことができるよう、生徒の実態を把握し、探究課題との関わり方や出会わせ方を工夫する。
 - ・主張点を明確にしてまとめたり、話し手と聞き手が主体的に関わり合って学習成果を共有したりできるよう、「整理・分析」「まとめ・表現」における指導の在り方を工夫する。
- 2 指導計画の改善
 - ・学校の全教育活動との関連の下、目標及び内容、探究的な学習活動、指導方法や指導体制、評価の計画等の整合を図るとともに、他教科等及び学年間の関連、小学校や高等学校との接続等に配慮するなどして、学習活動の充実を図る。
 - ・総合的な学習の時間の第1の目標と各学校において育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準を作成し、生徒の学習状況等を適切に評価するとともに、年間指導計画の見直しを適宜行いながら、指導の改善・充実を図る。
- 3 指導体制等の充実と学習環境の整備
 - ・全教職員による指導体制を確立するとともに、地域の人々や保護者の協力を得て、多様な指導方法の工夫に努める。
 - ・生徒の探究的な学びが促進されるよう、学習活動の経過や履歴を掲示するとともに、ICT、学校図書館及び地域の社会教育施設等を活用し、学びの充実を図る。

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・児童生徒が自分の事として課題を設定し、他者との対話を通して課題解決するとともに、自らの学びを意味付けたり価値付けたりして自己変容を自覚する学習の過程を構想する。
- ・児童生徒が各教科等における見方・考え方を総合的に活用するとともに、広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、実社会や実生活の課題を探究し、自己の生き方を問い続けることができるよう、指導の工夫改善を図る。
- ・児童生徒がICTを適切に活用しながら、自らの探究的な学習の履歴を集積し、情報を構造化したり再構成したりできるよう、指導の充実を図る。

総合的な探究の時間 高等学校

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

1 自己の在り方生き方を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力の育成

- ・実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立てて、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができる学びを展開する。
- ・質の高い探究を行うために、探究の過程が高度化したり、探究が自律的に行われたりするよう、学習活動の展開を工夫する。

2 指導計画の改善

- ・学校の特色や生徒の特性等を十分に踏まえて、目標を実現するにふさわしい探究課題を設定し、育成を目指す資質・能力を明確にした指導計画を作成する。各教科・科目等と総合的な探究の時間で身に付けた資質・能力を相互に関連付け、学習や生活において生かし、それらが総合的・統一的に働くように指導の工夫を図る。
- ・総合的な探究の時間の第1の目標と各学校において育成を目指す資質・能力を踏まえた評価規準を作成し、生徒の学習状況等を適切に評価するとともに、年間指導計画の見直しを適宜行いながら、指導の改善・充実を図る。

3 指導体制等の充実と学習環境の整備

- ・全教職員による指導体制を確立するとともに、地域の教育資源を積極的に活用できるよう外部連携の構築を図る。
- ・生徒の探究的な学びが促進されるよう、ICT、学校図書館及び地域の社会教育施設等を活用し、学びの充実を図る。

◎ 自ら見付けた課題に関して主体的に学習活動を繰り広げ、自分が納得できる答えを探し求めている。

◎ 互いに考えや意見を出し合い、見通しや計画を確かめ合って、他者の考えを受け入れながら、探究的な学習活動を行っている。

◎ 他者と協働的に取り組む探究的な学習活動を通して、自己のよさを発揮し多様な視点で意見交換を行っている。

◎ 具体的な活動や事象との関わりをよりどころとして多様な視点から考えることによって、自己の在り方や生き方を振り返り、問い続けていく。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を発する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・学ぶ意義や目的を明確にするため、日常生活における課題を発見し解決しようとするなど、実社会や実生活との関わりを重視する。また、教科等の枠を超えた横断的、総合的、探究的な学習の充実を図る。

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・社会人や職業人、各種団体等と連携したり、ふるさと的人的・物的資源を素材とした教材等を積極的に活用したりすることを通して、家庭や地域社会との連携・協働を深める。

特別活動

小学校

- 1 学級や学校での生活の充実と向上に向けた自主的、実践的な学級活動の推進
[学級や学校における生活づくりへの参画]
 - ・ 発達の段階に即した指導のめやす等を持ち、全教職員で共通理解を図り指導する。[日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全]
 - ・ 学級や学校、地域の実態、発達の段階、指導内容の系統性などを考慮した上で、各学年の年間指導計画を作成し、意図的、計画的に指導する。[一人一人のキャリア形成と自己実現]
 - ・ キャリア教育や個に応じた指導、支援、相談等との関連を図り、小・中・高等学校のつながりを意識して意図的、計画的に指導する。
- 2 学校生活の充実と向上に向けた自発的、自治的な児童会活動の推進
 - ・ 児童の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるよう他の教育活動との関連を図り、組織的に指導する。
- 3 個性の伸長を図りながら、自発的、自治的に取り組むクラブ活動の推進
 - ・ 児童の興味・関心に基づき組織を編成し、児童が自主的に計画、運営できるよう指導・援助する。
- 4 公共の精神を養いながら、よりよい学校生活を築く学校行事の推進
 - ・ 各行事のねらいを明確にし、行事間の関連をもたせるとともに、異年齢集団及び地域の人々との交流や、自然及び社会体験等の体験活動の充実に努める。

中学校

- 1 学級や学校での生活の充実と向上に向けた自主的、実践的な学級活動の推進
[学級や学校における生活づくりへの参画]
 - ・ 話し合い活動等、小学校からの積み重ねや経験を生かし、発展させることができるよう全教職員で共通理解を図り指導する。[日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全]
 - ・ 学級や学校、地域の実態、発達の段階、指導内容の系統性などを考慮した上で、各学年の年間指導計画を作成し、意図的、計画的に指導する。[一人一人のキャリア形成と自己実現]
 - ・ キャリア教育や個に応じた指導、支援、相談等との関連を図り、小・中・高等学校のつながりを意識して意図的、計画的に指導する。
- 2 学校生活の充実と向上に向けた自発的、自治的な生徒会活動の推進
 - ・ 生徒の自発的、自治的な活動が効果的に展開されるよう、一貫した指導体制の下に他の教育活動との関連を図り、組織的に指導する。
- 3 公共の精神を養いながら、よりよい学校生活を築く学校行事の推進
 - ・ 各行事のねらいを明確にし、行事間の関連をもたせるとともに、異年齢集団及び地域の人々との幅広い交流や、自然及び社会体験等の体験活動の充実に努める。

◇「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善」に当たっての留意事項

- ・ 学級や学校の生活から課題を見付け、解決に向けて取り組む自主的、実践的な学習を展開する。
- ・ 多様な他者と対話しながら協働したり、体験等を通して感性や思考力、実践力を豊かにしたりする活動の充実に努める。
- ・ ICTを活用するなどして、他者の様々な意見に触れて自分の考えを広げたり、課題について多面的・多角的に考えたりすることができる話し合い活動を展開する。
- ・ 児童生徒のよさや可能性を多面的・総合的に評価することで、指導の改善に生かす。

高等学校

小・中・高を貫いて 育てる子どもの姿

- 1 ホームルームや学校での生活の充実と向上に向けた自主的、実践的なホームルーム活動の推進
 - [ホームルームや学校における生活づくりへの参画]
 - ・自己の役割を自覚し、主体的な社会参画の意識が向上するよう指導・援助する。
 - [日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全]
 - ・生涯にわたって心身の健康保持増進に努める態度を身に付ける活動の充実を図る。
 - [一人一人のキャリア形成と自己実現]
 - ・小・中・高等学校のつながりを意識し、発達の段階に応じた勤労観・職業観を醸成するとともに、自己の将来像を描き、主体的な進路選択ができるよう指導する。
- 2 学校生活の充実と向上に向けた自発的、自主的な生徒会活動の推進
 - ・学校生活の充実や改善・向上を目指し、全生徒が自発的、自主的な活動を実感できるよう指導・援助する。
 - ・指導内容の重点化と各教科・科目等との有機的な関連を図り、学校の特色を生かした魅力ある行事の創意工夫に努める。
- 3 公共の精神を養いながら、よりよい学校生活を築く学校行事の推進
 - ・就業体験活動やボランティア活動など地域と連携した社会参画、職業観の形成や進路選択等に資する体験活動の充実を図る。
 - ・指導内容の重点化と行事間の関連を図り、学校の特色を生かした魅力ある行事の創造に努める。

◎考えや立場の違い等を理解した上で認め合い、互いのよさを生かすような関係を築いている。

◎各活動や学校行事に、創意工夫を生かして積極的に参加し、集団への所属感・連帯感を高めている。

◎よりよい学級（ホームルーム）・学校生活づくりなどに参画し、様々な問題を主体的に解決していこうとしている。

◎諸問題の解決のために、合意形成につながる話し合いをしたり、他者と協力して実践したりしている。

◎将来の生き方を描き、現在の生活や学習の在り方を振り返るとともに、社会的・職業的自立に向けて自己実現を図ろうとしている。

◎活動を記録し蓄積する教材等を活用し、今までの学びや実践を振り返り、自己理解を深め、よりよい自分を目指そうとしている。

※下線は各教科等で目指したい“「問い」を發する子ども”の姿に関するもの

◇校種間連携並びに家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働を重視したふるさと教育の推進

1 校種間連携共通実践事項

- ・地域の様々な人々との交流や社会体験等を通し、気付いたことを振り返るなどの活動の充実
- ・特別活動で育成を目指す資質・能力及び学級活動等における学習過程についての共通理解
- ・児童生徒の自己理解を深めるキャリアノート等の活用と学年間、校種間の円滑な引継ぎ

2 家庭、地域、企業及び高等教育機関との連携・協働

- ・生きて働く知識及び技能が身に付くような、人、自然、文化との効果的な触れ合いと交流の促進
- ・社会人・職業人を活用した魅力ある授業の推進

へき地校・小規模校教育

1 へき地校・小規模校の特性を生かした教育の実践

(1) ふるさとに対する愛着と誇りをもたせる教育

様々な学習活動において、ふるさとそのものを教育資源として活用し、直接体験を大切にしながら展開を工夫することで、学習意欲の向上を図る。

また、地域の自然や文化、人々との触れ合いで得た感動を通して、ふるさとに学び、愛着と誇りをもつ児童生徒の育成に努める。

(2) 地域の特性を生かした教育

地域の実態を的確に把握し、その特性を積極的に取り入れた教育活動の展開に努める。

また、人的・物的資源等、地域のもつ教育力を適切かつ効果的に活用するなどして、地域との密接な連携による教育活動の実践に努める。

(3) 郷土や国際社会でたくましく生き抜く力を育む教育

郷土が抱える課題や郷土の未来について考え、話し合う活動等を通して、郷土や国際社会で自立的、協働的、創造的に生き抜く児童生徒の育成に努める。

2 児童生徒一人一人の自己実現を支援する教育の充実

(1) 一人一人の子どもに寄り添った指導・支援

児童生徒の個性を発見し、よさや可能性の伸長を図るために、一人一人を共感的に理解するとともに、個に応じたきめ細かな指導・支援に努める。

(2) 支え合う生き方を自覚する人間関係づくりの支援

少人数のよさを生かし、児童生徒相互の望ましい人間関係や、児童生徒と教師との揺るぎない信頼関係を築き、教育活動の充実に努める。

また、ICTを効果的に活用するなどして他校との交流活動や合同学習を積極的に行い、多様な考えに触れたり社会性を養ったりする機会の設定に努める。

(3) 夢や希望の実現に向けた支援

児童生徒の思いや願いを大切にしながら集団活動等を通して、互いのよさを認め合うとともに、自信をもち、現在及び将来における自己実現を図ろうとする意欲を高める。

3 少人数・複式学級における指導方法の改善と充実

(1) 基礎学力の定着を図る学習指導

少人数学級のよさを生かし、児童生徒一人一人の特性や学習進度等に応じ、指導方法・教材等の柔軟な提供・設定を行う。

また、支援が必要な児童生徒に対し、より重点的な指導を行うために、全校体制でチーム・ティーチングを推進するなど、手立ての工夫に努める。

(2) 児童生徒一人一人のよさを生かす学習指導

個々の興味・関心やキャリア形成の方向性等に応じた目標に向けて、学びを深め広げる活動を取り入れるなど、授業の展開を工夫する。

(3) 複式学級の特性を生かす学習指導

次年度以降の学級編成や学校統合等を視野に入れた長期的な見通しをもち、児童生徒の実態や各教科等の特質を踏まえ、教材の精選や指導内容の重点化を図るなど、指導計画の改善・充実に努める。

また、教師が一方の学年に指導している間に、他方の学年の児童生徒が見通しをもって学習を進められるよう、ICTの活用や学習過程の工夫改善に努める。

4 地域と学校の特色を生かす研修の充実

へき地校・小規模校が抱える教育課題の解決のため、家庭や地域、へき地校・小規模校同士の連携を深めながら研修の充実に努める。

また、先進校に学んだり、各校の研究成果を共有したりするなど、より効果的な研修の実施に努める。